

特別活動学習指導案

学習者 附属小学校 5 年 1 組 3 4 名
指導者 木村 友哉

議題名 お互いをもっと大切にし、学級の雰囲気をよくするための取組を考えよう
(学級活動(1)ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決)

1. 議題の目標

- (1) 学級のみんなで、自分達の力を十分に生かして生活していくための方法について話し合ったり、そのための取組を実践したりする活動を通して、みんなで学級生活をより良くするために、他者と協働して取り組むことの意義を理解することができるようにする。
- (2) 学級生活をより良くするために、問題を発見し、解決方法について話合いの進め方に沿って合意形成を図り、仲よく助け合って実践することができるようにする。
- (3) 学級生活をより良くするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えをもち、役割を意識して自己の関わり方を調整しながら集団活動に取り組もうとするようにする。

2. 議題の評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をより よくしようとする態度
①学級会の役割、基本的な進め方を理解し、話合いの仕方を身に付けている。 ②決めたことを実践するために必要な方法を身に付けている。 ③他者と協働して取り組むことの意義を理解している。	① 学級生活をより良くするために、学級の問題を考え、表現している。 ② 解決方法について話合いの進め方に沿って自分にあった話合いへの参加方法で合意形成を図っている。 ③ 合意形成したことにについて仲よく助け合って実践している。	①学級生活をより良くするために、見通しをもったり振り返ったりしながら話合いや活動の準備に取り組もうとしている。 ②合意形成したことについて、見通しをもったり振り返ったりし自己の関わり方を調整しながら集団活動に取り組もうとしている。 ③集団活動に取り組んだことをもとに、自己や集団の良さや課題について振り返り、今後の生活に生かそうとしている。

3. 指導と評価の計画 (1 時間)

時	ねらい (◆) と主な学習活動 (○)	評価規準 (評価方法) 指導の改善に生かす評価「・」 総括資料とするための記録に残す評価「○」		
		知・技	思・判・表	主体

事前 (モジュール)	◆冬休み明けからの自分達の生活を振り返ることを通して、現在の自分達(学級)の良さと課題を捉え、学級をより良くしていこうとする意欲を持つことができるようにする。			
	<p>○担任不在により自分達だけで過ごした1週間の様子について学級全体で振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分達だけで過ごした期間が、より自分達の本当の力が発揮された期間になったことを確認する。 ・この1週間を振り返り、学級目標に対しての現在の自分達の位置を把握する。 ・学級の中で起きた良かったことをまず出し合うことで前向きな気持ちで振り返り、次にトラブルや困りについて出し合う。トラブルや困りを共有することで、学級の雰囲気や状態をより良くしたいという強い気持ちを持つ。 <p>○現在の学級の課題について確認・共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の学級の変えたいところ(課題)について、思いを素直に語り合い、一人ひとりの思いを尊重することを大切さにして話し合う。 <p>※学級目標に近づくこと(学級全体のウェルビーイングの達成)と児童一人ひとりが楽しく幸せに過ごせること(個人のウェルビーイングの達成)が往還関係にあることを理解できるようにする。</p> <p>○学級の課題解決(これまで以上にお互いを大切に、学級の雰囲気をよくする)には「意識する」だけでは解決に近づかないことを確認し、学級全員で取り組める具体的な取組を考える必要性に気づく。</p>		・①〈行動分析〉〈記録分析〉	・①〈行動分析〉
	<p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今、学級の中で嫌な気持ちになっている人がいることがわかってこのままじゃ嫌だなと思った。自分も含めて、みんなで学級をより良くできるように取組を考えていきたいな。 			
1 (本時)	◆これまで以上にお互いを大切に、学級の雰囲気をよくするための内容について、話し合いへの自己目標を持ち、話し合いへの参加の仕方を振り返り調節しながら話し合うことを通して、話し合いの進め方に沿い自分にあった話し合いへの参加方法で合意形成を図ることができるようにする。			
	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>お互いをもっと大切に、学級の雰囲気をよくするための取組を考えよう</p> </div>			
	○議題、提案理由、本時の流れを把握し、合意形成までの見通しを持つ。	・①〈行動分	・②〈行動分	

事後	<p>○自己目標（本時での話し合いへの参加の仕方やつけた力・なりたい姿）を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童一人ひとりが自分で決めた参加の仕方での話し合いに参画する。 <p>○自分の良さを生かした参加の仕方での話し合いに参加し、全体で合意形成に向けて話し合いを調節しながら話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童一人ひとりが参加した話し合いの中で、納得解を見出す。 <p>○社会創造、自己実現の視点で振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童自身が当事者意識を持って今回の話し合いに臨み、自分で決めた参加の仕方での友達と交流する中で学級における新たな価値を生み出そうとすることができたか(社会創造)、またその過程でなりたいた自分に近づくことができたか(自己実現)を振り返る。 	析〉〈記録分析〉	析〉〈記録分析〉	
	<p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なにか1回でもどこかのタイミングで学級のみんなに考えを伝えたいなあ ・わたしはどんどんアイデアを出して、意見をまとめられるようにしたいな ・〇〇さんのことを考えながら、出た意見について自分なりに考えを持ちたいな 			
	◆合意形成したことについて、仲よく助け合いながら見通しを持ったり振り返ったりしながら実践するようにする。			
	<p>○学級会で決まったことをもとに準備をしたり実践したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組内容によっては実行委員などリーダーグループを組織して取り組んでいく。 <p>○成長ノートを使って、振り返りを行う。</p>	・③〈記録分析〉	・③〈行動分析〉	・②③〈行動分析〉〈記録分析〉

7. 本時の指導 (1/1)

本時のねらい	これまで以上にお互いを大切にし、学級の雰囲気をよくするための内容について、話し合いへの自己目標を持ち、話し合いへの参加の仕方を振り返り調節しながら話し合うことを通して、話し合いの進め方に沿い自分にあった話し合いへの参加方法で合意形成を図ることができるようにする。
評価規準	これまで以上にお互いを大切にし、学級の雰囲気をよくするための内容について、話し合いの進め方に沿い自分にあった話し合いへの参加方法で合意形成を図っている。
具体的な児童の姿	<p>「なにか1回でもどこかのタイミングで学級のみんなに考えを伝えたい。」</p> <p>「わたしはどんどんアイデアを出して、意見をまとめられるようにしたい。」</p> <p>「〇〇さんのことを考えながら、出た意見について自分なりに考えを持ちたい。」</p>

時間	児童の活動	〇指導及び・留意点【選択・決定】【当事者意識】 ※支援を要する児童への手立て ◎評価〈方法〉
5分	<p>1. 議題と提案理由を確認し、本時のめあてを設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>議題</p> <p>お互いをもっと大切にし、学級の雰囲気をよくするための取組を考えよう</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>提案理由</p> <p>5年1組でたくさんの思い出や成長を積み上げてきた。だけど、今の学級ではお互いのことを大切にできておらず、平気で人を傷つけるような言動や行動、雰囲気がある。もっとお互いのことを大切にしてみんながほっと安心できる雰囲気の学級にしたいから。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて</p> <p>一人ひとりが学級に貢献できる話し合いにしよう。</p> </div>	<p>〇議題を解決することで学級全体や個人に与えられる良さを共有できるようにする。【当事者意識】</p>
5分	2. 話し合いの流れを全員で確認し、時間配分を考える。	<ul style="list-style-type: none"> 児童個人が今回の活動の自己目標(つけたい力やなりたい自分の姿)と本時の話し合いへの関わり方を成長ノートに記しておき、確認するようにする。 あらかじめ司会グループが話し合いの流れと時間配分を考えて置き、それを提案する形にすることで、全員で決定できるようにする。【選択・決定】
25分	<p>3. 議題について話し合う柱①</p> <p>「お互いをもっと大切にし、学級の雰囲気をよくするためにどんな取組をしていくか？」</p>	<p>〇自己決定した参加の仕方では話し合いに参加している児童を見取り褒めることで、児童全員がメタ認知し(自分の参加の仕方について見つめ直し)調節できるように促す。</p> <p>・全体の話し合いの流れを妨げないように留意しつつ、全体に共有を図りたい姿は適宜学級全体に伝える。</p>

		<p>◎共有を図りたい姿</p> <p>□学級全体の話合いがずれていないかや計画通りに進んでいるかを確認しながら調節しようとする発言や姿。</p> <p>□考えを多面的に見て吟味することで他者の考えの良さを生かしながら自分の考えを発信する姿。等</p> <p>※話合いへの参画に困りを抱える児童には、同じような参加の仕方を考えている児童を伝えて参考にできるようにしたり、アドバイスをしたりする。</p> <p>・話合いの流れや方向性によっては、役割分担等活動をどのようにすすめていくかについても話し合うようにする。</p>
10分	4. 話合いで決まったことを確認し、本時の振り返りを行う。	<p>◎これまで以上にお互いを大切にし、学級の雰囲気をよくするための内容について、解決方法について話合いの進め方に沿い自分にあった話合いへの参加方法で合意形成を図っている。〈行動分析・記録分析〉</p> <p>○成長ノートに下記3点を視点に本時の自分を振り返り、記述するようにする。</p> <p>① 議題に対してみんなで決めたことについて</p> <p>② 話合いでの自分の参画の仕方について</p> <p>③ ①と②を受けて、今後の活動やこれからの自分に生かしたいことについて</p> <p>※自分の様子について振り返りにくい場合は、近くのクラスメイトからの他者評価をもらうように声を掛ける。</p> <p style="text-align: right;">【当事者意識】</p> <p>・今後の活動に意欲をもって取り組めるように声かけを行う。</p>